

参考 エゾシカの主な捕獲手法の長所と短所

(引用元「森林管理者のためのエゾシカ捕獲の手引き」)

	捕獲手法	概 要	長 所	短 所
銃器を用いた捕獲	一般狩猟	流し、忍び、巻き狩り など	・機動性に富む ・捕獲個体の回収が比較的容易	・シカの学習により機会減少 ・巻き狩り: 多人数が必要 ・誤射などのリスク
	誘引狙撃	餌付け、ブラインドやハイシートを用いた射撃	・近距離、確実な捕獲 ・安全性が高い	・餌付けが必要 ・待機時間が長い ・ブラインド: 警戒心が高い地域では困難
	モバイルカリング ^{a)}	餌付け、車両内外からの射撃	・比較的警戒されない ・待機時間が短い ・安全性が高い	・餌付けが必要 ・道路の通行止めが必要
ワナ捕獲	箱ワナ	天井がある小型のワナ	・設置場所の制約少ない ・運搬設置は容易 ・生体捕獲(有効活用)	・捕獲効率 ^{c)} 低い ・幼獣捕獲が多い ・錯誤捕獲の可能性有
	くくりワナ	ループ状のワイヤー	・設置場所の制約少ない ・運搬設置は容易 ・ワナは安価	・捕獲効率低い ・動物福祉上の課題 ・止め刺しに危険性 ・錯誤捕獲の可能性有
	小型囲いワナ ^{b)}	天井がない小型のワナ	・設置場所の制約少ない ・運搬設置は容易 ・2 頭以上の捕獲可能 ・生体捕獲(有効活用)	・捕獲効率は中程度 (大型囲いワナより低い)
	大型囲いワナ	周囲長数 10m～ 数 100m の囲いワナ	・捕獲効率高い ・生体捕獲(有効活用)	・設置場所の制約大 (大面積が必要) ・移設が困難 ・設置(撤去)コスト大

a) 広義には誘引狙撃の一つであるが、車両を用いる方法として区分した。森林管理者が林道を通行止めにするにより(公道とはみなされなくなる)、実施可能となる方法。

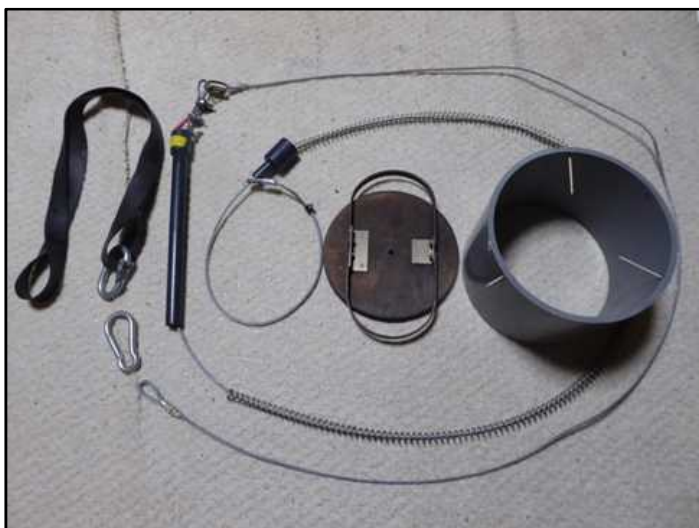
b) ここでは周囲長が 10 数 m 以下のものを小型とする。

c) 捕獲効率: ワナ 1 基(個)1 日当りの捕獲頭数

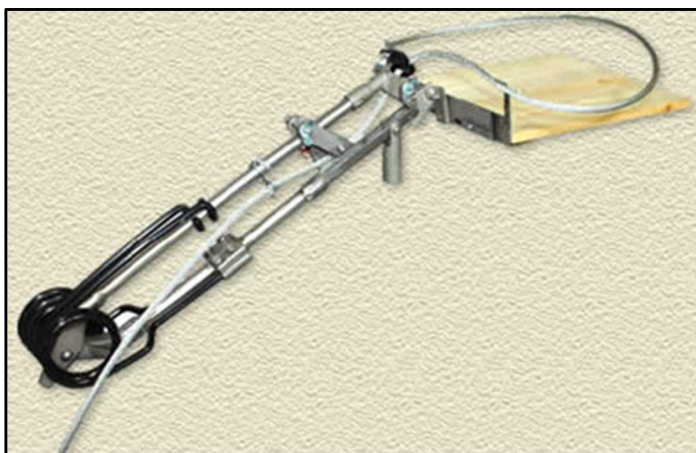
くくりわなの種類



押しバネ・箱形



押しバネ・筒型



跳ね上げ式